

NSW

2024年3月期
第2四半期決算説明

2023年11月13日

Humanware By Systemware

目次

1. 第2四半期決算概況
2. 通期業績予想
3. 事業トピックス

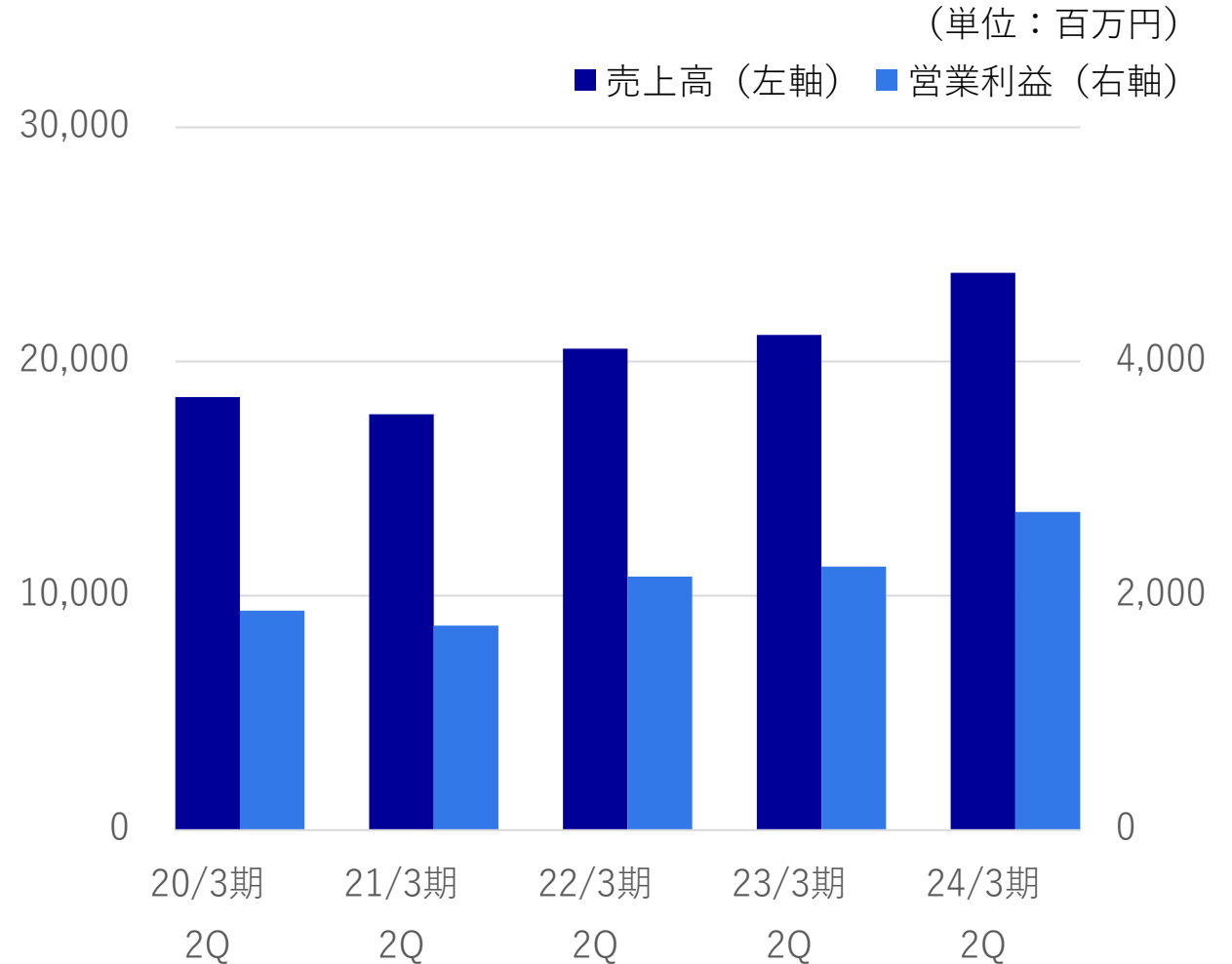
1. 第2四半期決算概況

業績ハイライト1

中期経営計画の折り返しとして順調な着地上半期の過去最高業績を更新

売上高
23,782 百万円
前年同期比 **+12.6** %

営業利益（率）
2,713 百万円
(**11.4** %)
前年同期比 **+20.7** %
(**+0.8p**)



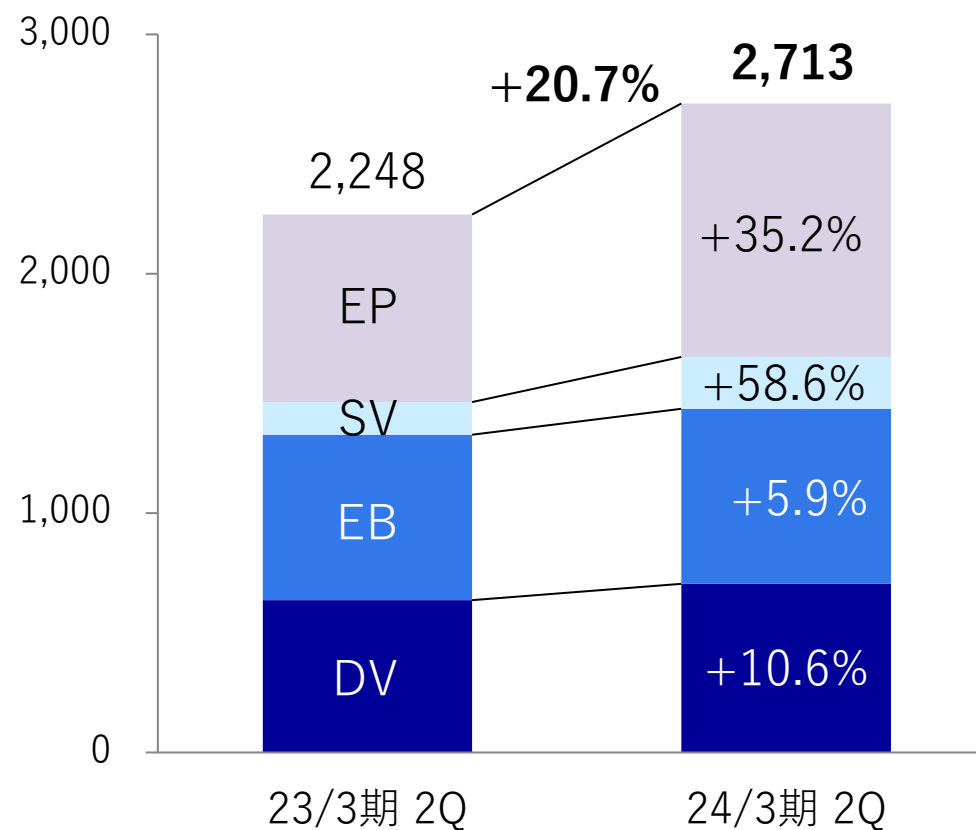
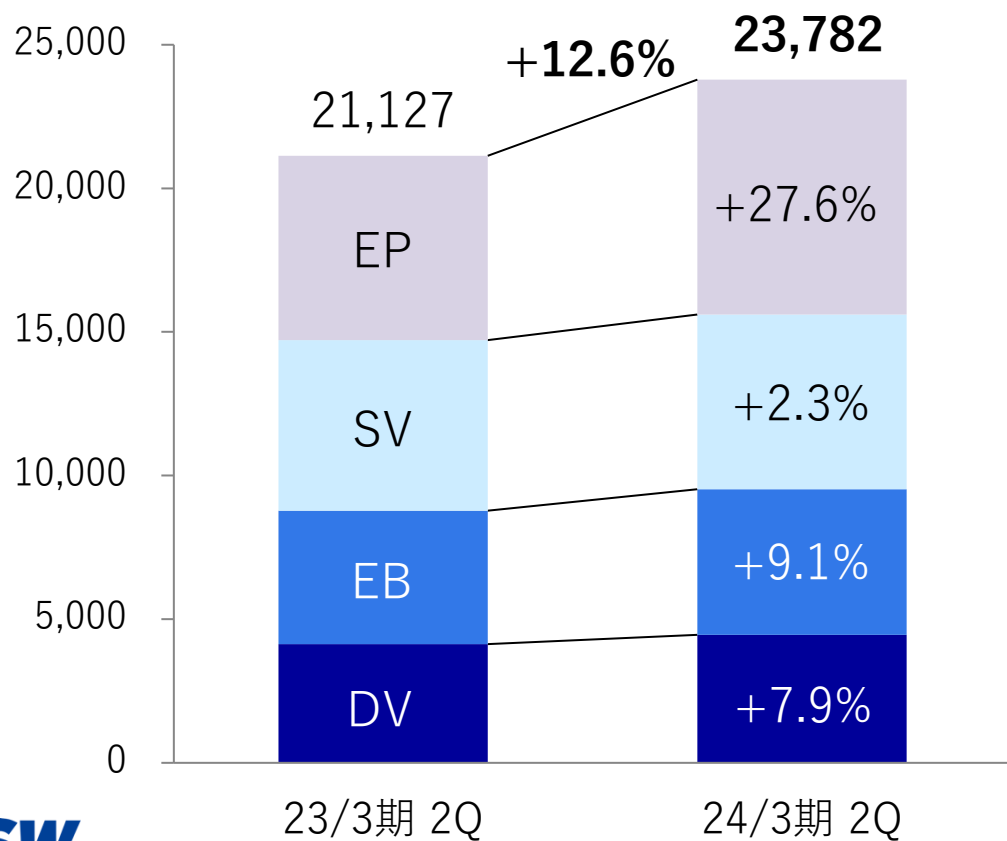
業績ハイライト2

セグメント別売上・利益推移

(単位：百万円)

● 売上高

● 営業利益



連結業績 概要

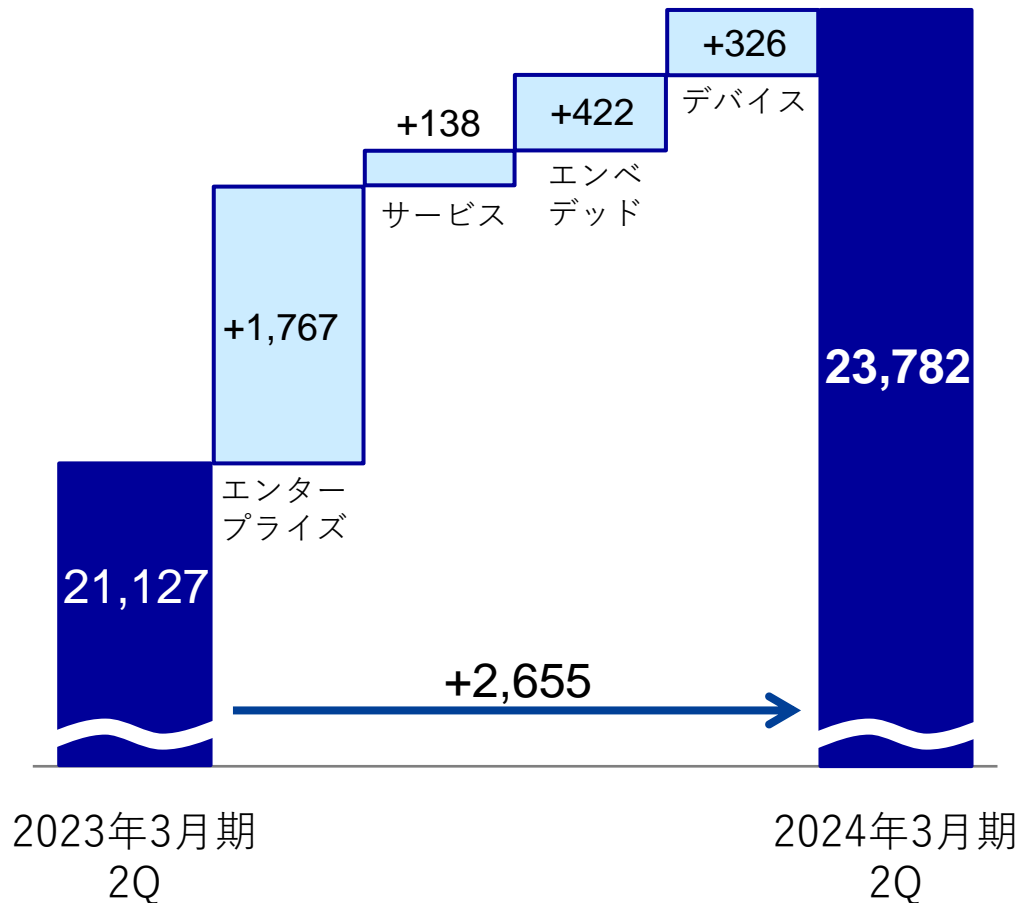
(単位：百万円)

	2024年3月期 2Q実績	計画比		前年同期比		計画	2023年3月期 2Q実績
		増減額	増減率	増減額	増減率		
売上高	23,782	+1,282	+5.7%	+2,655	+12.6%	22,500	21,127
営業利益	2,713	+313	+13.1%	+465	+20.7%	2,400	2,248
┌ 同率	11.4%	+0.7p	/	+0.8p	/	10.7%	10.6%
経常利益	2,749	+329	+13.6%	+466	+20.4%	2,420	2,283
┌ 同率	11.6%	+0.8p	/	+0.8p	/	10.8%	10.8%
当期純利益	1,940	+270	+16.2%	+412	+27.0%	1,670	1,528
┌ 同率	8.2%	+0.7p	/	+0.9p	/	7.4%	7.2%
受注高	24,487	/		+731	+3.1%	/	
受注残高	18,347			+663	+3.8%		

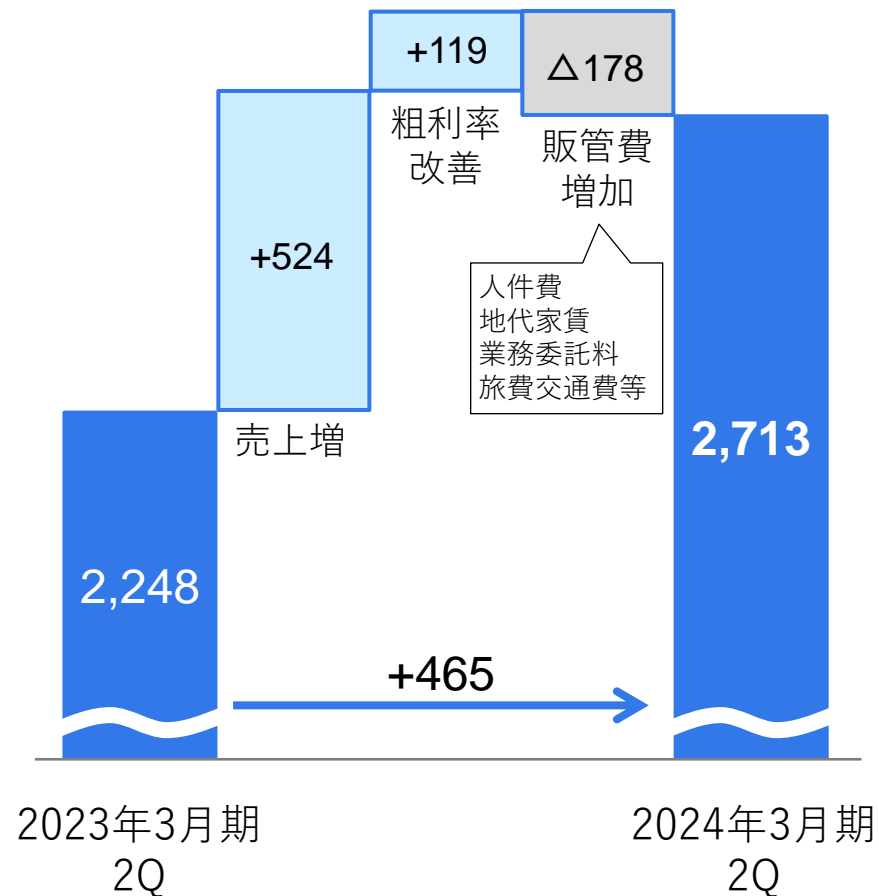
売上高・利益の増減要因（前年同期比）

（単位：百万円）

● 売上高



● 営業利益



エンタープライズソリューションセグメント 概況

(単位：百万円)

	2024年3月期 2Q実績	計画比		前年同期比		計画	2023年3月期 2Q実績
		増減額	増減率	増減額	増減率		
売上高	8,181	+881	+12.1%	+1,767	+27.6%	7,300	6,414
ビジネスソリューション	2,652	/		+309	+13.2%	/	
金融・公共ソリューション	3,797			+482	+14.5%		
システム機器販売	1,730			+975	+129.1%		
営業利益	1,060	+220	+26.2%	+276	+35.2%	840	783
同率	13.0%	+1.5p	/		+0.7p	11.5%	12.2%
受注高	8,140	/			+449	+5.8%	/
受注残高	6,220			+87	+1.4%		

ビジネスソリューション

- 製造業・物流業向け
製造・物流系パッケージ提供を中心に堅調推移
- 小売業向け
主要顧客のIT投資需要を確実に捉え、店舗系システム関連開発を中心に増加

金融・公共ソリューション

- 金融・保険業向け
カード決済分野の業務が大きく拡大しけん引
- 官公庁・団体向け
既存顧客を中心にインフラ構築案件なども取り込み堅調

システム機器販売

- 小売業向けPOS関連の機器販売が大幅に増加

サービスソリューションセグメント 概況

(単位：百万円)

	2024年3月期 2Q実績	計画比		前年同期比		計画	2023年3月期 2Q実績
		増減額	増減率	増減額	増減率		
売上高	6,079	+139	+2.4%	+138	+2.3%	5,940	5,941
デジタルソリューション	1,404	/		+27	+2.0%	/	
クラウド・インフラサービス	4,675			+111	+2.4%		
営業利益	216	△43	△16.8%	+79	+58.6%	260	136
同率	3.6%	△0.8p	/		+1.3p	4.4%	2.3%
受注高	6,424	/		△385	△5.7%	/	
受注残高	6,677			+287	+4.5%		

デジタルソリューション

- IoT・AI
AI分野など先行投資的な活動は推進しつつも、IoT分野をはじめとする基盤事業の安定化に注力
- WEB・EC
ECサイト構築を中心とした案件拡大により堅調に推移

クラウド・インフラサービス

- クラウド
クラウド構築関連のビジネスが堅調に推移し増加
- インフラ・その他サービス
前期に引き続きデータマネジメント分野が好調に推移し拡大傾向

エンベデッドソリューションセグメント 概況

(単位：百万円)

	2024年3月期 2Q実績	計画比		前年同期比		計画	2023年3月期 2Q実績
		増減額	増減率	増減額	増減率		
売上高	5,066	+226	+4.7%	+422	+9.1%	4,840	4,643
営業利益	732	+82	+12.7%	+41	+5.9%	650	691
同率	14.5%	+1.0p		△0.4p		13.4%	14.9%
受注高	5,351			+633	+13.4%		
受注残高	2,631			+175	+7.2%		

組込み開発

- オートモーティブ
IVIなど既存領域は減少傾向もADASをはじめとする他分野への展開が好調に推移
- モバイル
金融系モバイルアプリおよびサービス開発が増加
- 設備機器
放送設備関連開発や決済端末関連開発などが伸長
- 通信
5G関連は一巡もネットワーク機器開発関連が好調に推移

デバイスソリューションセグメント概況

(単位：百万円)

	2024年3月期 2Q実績	計画比		前年同期比		計画	2023年3月期 2Q実績
		増減額	増減率	増減額	増減率		
売上高	4,455	+35	+0.8%	+326	+7.9%	4,420	4,128
営業利益	704	+54	+8.4%	+67	+10.6%	650	637
同率	15.8%	+1.1p		+0.4p		14.7%	15.4%
受注高	4,572			+33	+0.7%		4,538
受注残高	2,817			+111	+4.1%		2,706

デバイス開発

- 半導体の市況感は引き続き堅調な見込みで、主要顧客の深耕を中心に拡大
- LSI設計・開発・評価業務が堅調に推移し拡大も、半導体の在庫調整によりLiteASICビジネスは需要減
- 慢性的なリソース不足対策と次期成長に向け、海外人材および海外案件の獲得にも注力していく方針

剰余金の配当（中間配当）について

当第2四半期までの連結業績および通期連結業績予想を勘案した結果、中間配当を1株当たり25円から5円増額し、30円とします。

	決定額	直近の配当予想 (2023年5月15日)	前年実績 (2023年3月期中間)
基準日	2023年9月30日	2023年9月30日	2022年9月30日
1株当たり配当金	30円00銭	25円00銭	25円00銭
配当金総額	446百万円	—	372百万円
効力発生日	2023年12月4日	—	2022年12月2日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 通期業績予想

連結業績 予想

(単位：百万円)

	2024年3月期 下期期初計画	前年同期比		2024年3月期 通期計画	前年同期比		2023年3月期 通期実績
		増減額	増減率		増減額	増減率	
売上高	26,000	+938	+3.7%	48,500	+2,311	+5.0%	46,188
営業利益	3,200	+60	+1.9%	5,600	+212	+3.9%	5,387
┌ 同率	12.3%	△0.2p	/	11.5%	△0.1p	/	11.7%
経常利益	3,230	+70	+2.2%	5,650	+207	+3.8%	5,442
┌ 同率	12.4%	△0.2p	/	11.6%	△0.1p	/	11.8%
当期純利益	2,280	△282	△11.0%	3,950	△140	△3.4%	4,090
┌ 同率	8.8%	△1.5p	/	8.1%	△0.7p	/	8.9%

セグメント別業績予想 1

(単位：百万円)

		2024年3月期 下期期初計画	前年同期比		2024年3月期 通期計画	前年同期比		2023年3月期 通期実績
			増減額	増減率		増減額	増減率	
エンタープライズ ソリューション	売上高	8,600	+236	+2.8%	15,900	+1,122	+7.6%	14,777
	営業利益	1,170	△145	△11.1%	2,010	△89	△4.3%	2,099
	同率	13.6%	△2.1p		12.6%	△1.6p		14.2%

サービス ソリューション	売上高	7,460	+406	+5.8%	13,400	+404	+3.1%	12,995
	営業利益	520	+147	+39.5%	780	+270	+53.2%	509
	同率	7.0%	+1.7p		5.8%	+1.9p		3.9%

セグメント別業績予想 2

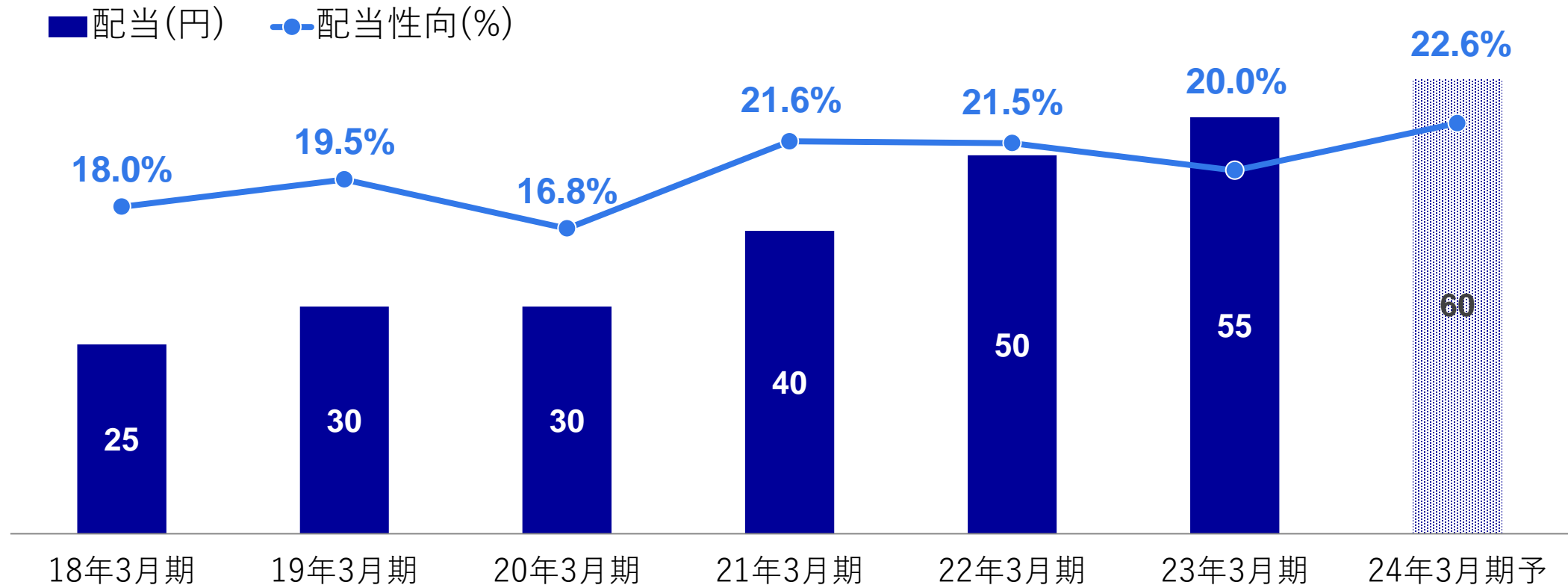
(単位：百万円)

		2024年3月期 下期期初計画	前年同期比		2024年3月期 通期計画	前年同期比		2023年3月期 通期実績
			増減額	増減率		増減額	増減率	
エンベデッド ソリューション	売上高	5,260	+108	+2.1%	10,100	+305	+3.1%	9,794
	営業利益	780	+66	+9.3%	1,430	+25	+1.8%	1,404
	同率	14.8%	+1.0p		14.2%	△0.2p		14.3%

デバイス ソリューション	売上高	4,680	+187	+4.2%	9,100	+478	+5.5%	8,621
	営業利益	730	△6	△0.9%	1,380	+6	+0.4%	1,373
	同率	15.6%	△0.8p		15.2%	△0.8p		15.9%

配当予想

- 一株あたり配当金・連結配当性向の推移



財務状況および業績に応じた安定的かつ継続的な配当を実施し、
持続的な企業価値向上に努めてまいります。

3. 事業トピックス

～中期経営計画の折り返しを迎えて～

中期経営計画 2022年4月～2025年3月

基本方針

デジタル変革による社会と企業の持続的成長の両立
～技術と知によりお客様とビジネスを共創するSIerへの進化～

コンセプト

DX FIRST

共創

重点戦略

①DX実現による顧客価値の追求
事業変革パートナーとしてのビジネス拡大

②選択と集中による収益力強化
高付加価値分野へのリソース投下

③将来成長に向けた戦略的投資
事業創出に向けた技術習得・先行投資

共通戦略

人材戦略

- 採用チャネルの多様化
- 人材育成プログラムの強化

パートナー・アライアンス
戦略

- 戦略的パートナー拡充
- 国内・海外BP活用

デジタル戦略

- ITインフラ強化
- 業務プロセス最適化

①DX実現による顧客価値の追求
事業変革パートナーとしてのビジネス拡大

②選択と集中による収益力強化
高付加価値分野へのリソース投下

③将来成長に向けた戦略的投資
事業創出に向けた技術習得・先行投資

マルチコードスキャンプラットフォーム「CodeSync」

DX実現による顧客価値の追求
選択と集中による収益力強化
将来成長に向けた戦略的投資

アナログデータをデジタルへ変換 読取、変換、業務アプリ連携をワンストップで提供

アナログデータの読取、データ変換、業務アプリケーション連携をワンストップで提供するプラットフォーム。
人手不足問題が深刻化している中
工数や手間のかかるアナログ業務の効率化を支援。

現場の業務改善からデータの活用までワンストップで提供
お客様毎に業務や環境に応じて、機器/ライブラリ/AI技術を活用してDXを推進

特長①

最適手段でラベル・コードを種別、デジタル変換

バーコードスキャンやOCR文字認識だけでなく、画像処理AI技術を活用。
ラベルコードを高精度に読み取り、適切な形式のデジタルデータに変換できます。
読み取りや画像処理のライブラリは、要件に応じて選定いたします。



バーコード読取

OCR

物体検知

特長②

エッジからクラウドまで柔軟なスケーラビリティ

カメラデバイスやスマホアプリ、拠点設置のエッジサーバ、任意のクラウド環境まで、利用目的や費用感に応じて様々なハードウェア・システム構成をお選びできます。



クラウド

ローカル

モバイル

特長③

業務アプリケーションとのシームレスな連携

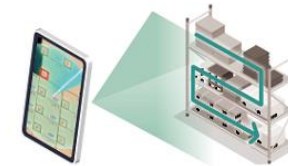
取得したデータを参照する業務アプリケーションをカスタマイズして提供。
外部システムとのAPI接続し、各種業務アプリケーションとの同期を実現します。



CodeSyncが提供する顧客体験

一括・連続読み取り

複数対象を一括で撮影したり、連続でスキャンするだけで、同時に情報を読み取ることができます



対象品探索・混入品チェック

複数の品目が混在する環境で、指定した対象品や混入品をディスプレイ上で視覚的に判別できます



予定・実績データ突合

ターゲットリストと、読み取った実績データを突合し、漏れやエラーのアラートを通知します



証憑記録

情報を読み取った際に撮像した写真や作業ログをエビデンスとして保存し、後日参照が可能です



MaaSプラットフォーム

ELTRES™ IoTネットワークサービスとの連携サービス

ELTRESを活用した車両の位置情報管理の実現

オンボード型の車載専用ELTRES通信端末と各種センサー（アルコールチェッカー、タイヤ空気圧センサー等）の連携でデータを取得
シームレスで安定した通信により、一括してスムーズな業務モニタリングが可能

モビリティ機器や利用者といった移動体の位置情報を利用し
車両の運行管理、人物の移動軌跡、場所特定などの
各種業務・サービスのDXを支援するクラウド型ソリューション

- ①安定通信 ②長距離伝送 ③低消費電力
- ④高速移動体対応 ⑤GNSS標準搭載

NSW-MaaS（Mobility as a Service）プラットフォーム



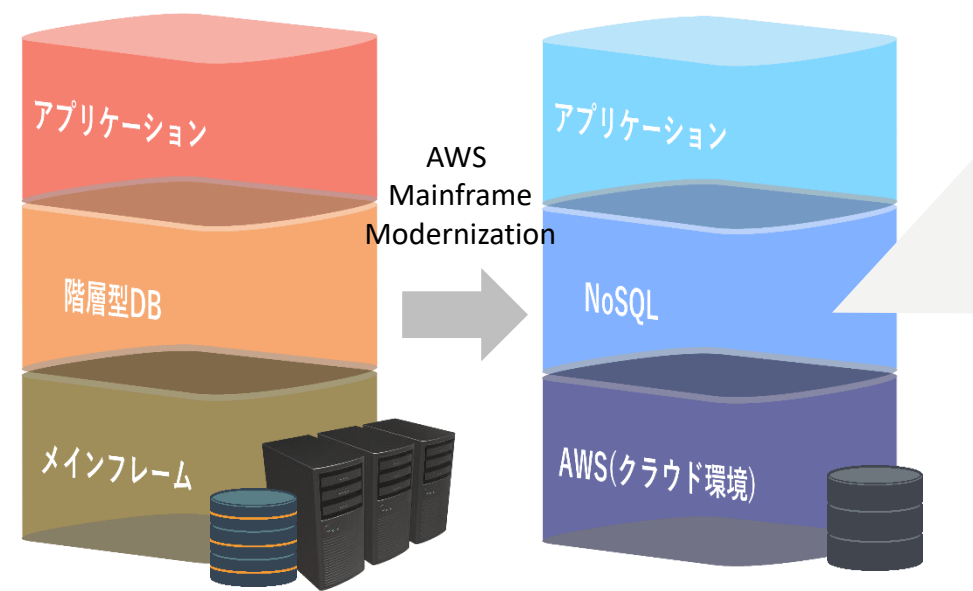
Vehicle Smart Tracker For ELTRES



株式会社Scalarとの共同検証・開発 COBOLモダナイゼーションソリューション

伝統的なメインフレーム環境からのモダナイゼーションを支援

短期間かつ低コストで、安心安全なメインフレームモダナイゼーションを実現するために
 ScalarDBを使用して、既存のCOBOL資産を生かしたデータ整合性の確認を共同検証



従来のメインフレーム
 堅牢で信頼性が高い
 現代の要件に適應できない
 新しいテクノロジーに対応できない

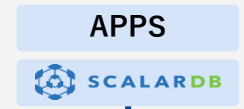
柔軟なオープン環境へ移行
 現代の要件に合わせた適應 / 競争力の強化
 パフォーマンスの向上・業務効率化
 柔軟性と拡張性/運用コスト削減



SCALARDB

整合性を保証するソフトウェア
 複数・異機種のデータベースを繋ぎ、ACID特性を保証

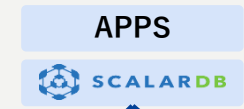
NoSQLに対する
 トランザクション管理



NoSQL

- ・ AWS DynamoDB :
 R/Wトランザクション
 データ量・件数制限の解除
- ・ Azure Cosmos DB :
 パーテーション横断の
 トランザクションの実現

複数のデータベースに対する
 トランザクション管理



NoSQL RDBMS

- ・ 異なるインスタンス間の
 トランザクション管理
- ・ 異なるデータベース間の
 トランザクション管理

①DX実現による顧客価値の追求
事業変革パートナーとしてのビジネス拡大

②選択と集中による収益力強化
高付加価値分野へのリソース投下

③将来成長に向けた戦略的投資
事業創出に向けた技術習得・先行投資

製造業特化型入在庫管理システム 「ORBIS-VI 製造工場」

生産管理システム・ERPの在庫管理機能を補完する製造業特化型の倉庫システム

- ・ 工程毎の在庫状況が管理が可能で、明確なトレーサビリティを実現
- ・ 庫内ロケーション情報を見える化し、製品の管理業務を可視化
- ・ 生産管理システム「Factory-ONE 電腦工場 MF」とのシームレスな連携



「ORBIS-VI製造工場」の導入効果

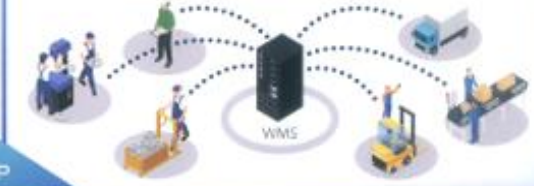
生産計画の精度向上

現品管理により正確なリアル在庫情報を把握
最適な生産計画・生産管理を実現



工程毎の在庫情報共有

工程別在庫・受払履歴の確認が可能(品目・ロット別)
工程をまたいだ在庫情報の共有を実現



トレーサビリティの強化

同一製品のロット管理が可能
先入先出の徹底や在庫区分による管理等
営業倉庫同様のトレーサビリティを実現



入出庫作業の効率化

ハンディターミナルを使用した商品とパレットの結びけ管理
パレット単位で一括入出荷処理を実現



RealWear, Inc.への戦略的投資を行い 新たなパートナーシップを締結

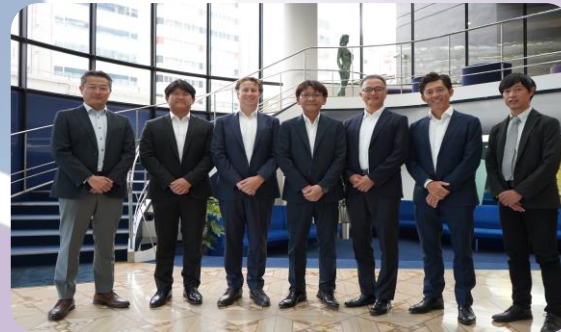
AIとスマートグラスを活用したソリューションによりDXビジネスの拡大を目指す



realwear

×

NSW



DX FIRST × 共創

NSWのDXビジネスとも親和性が高く、スマートグラスを活用したさらなるソリューション展開が期待されるRealWear社とのパートナーシップをより強固にするため、戦略的投資を実施しました。

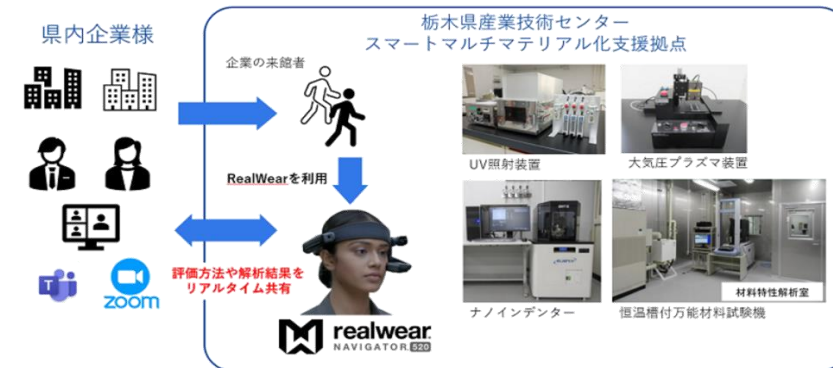
産業用スマートグラスRealWear

① 栃木県産業技術センターに導入

遠隔の共同研究者と評価方法や解析結果をすぐに共有

- ・ 遠隔の共同研究者等と、評価方法や解析結果をリアルタイムで共有
効率的・効果的な設備利用ができる機器として導入が決定
- ・ マルチマテリアル化技術による試作開発や解析評価を支援

サービスイメージ

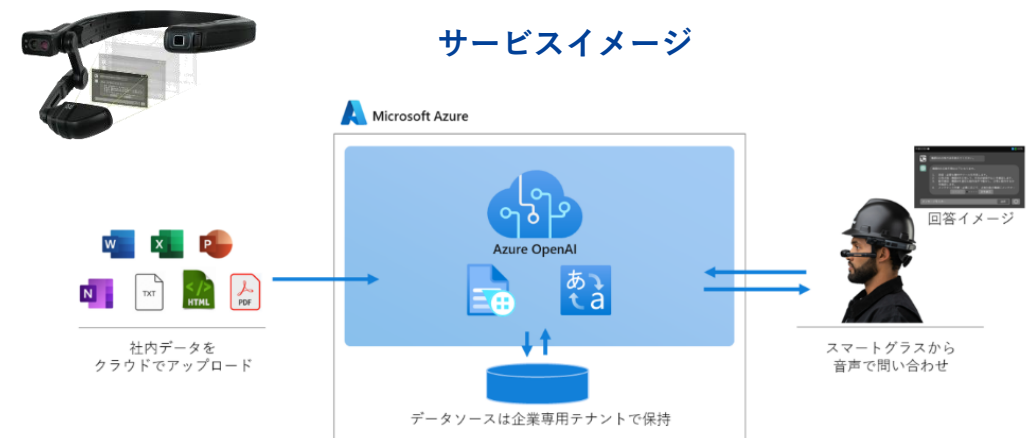


② 生成AIを搭載

音声認識により100%ハンズフリーで生成AIと連携

- ・ 対話型のAIサービスであるChatGPTを利用可能
- ・ 企業独自の情報をあらかじめAIに学習
- ・ Azure OpenAI Serviceの利用でセキュリティ面の不安を解消

サービスイメージ



共通戦略への取組み

対応力強化 ～人材確保への取組み～

■パートナー・アライアンス戦略：海外拠点/活用事例の拡大

- ・半導体事業の対応力強化を推進
- 海外リソース活用の推進：
ベトナムODCの拡大（20名体制）
海外人員採用（3名採用）



■人材戦略：採用活動の強化

- ・新卒/中途に関わらず、採用活動を強化
- ・前中計終了時2021年度末と比較し
2023年9月末時点で採用人数約1.3倍



持続可能な開発目標 ～SDGsへの取組み～

■カーボンニュートラルに向けた再生可能エネルギー活用計画

- ・ 山梨県SDGs推進企業
- ・ 山梨データセンター敷地内に太陽光パネル設置を検討

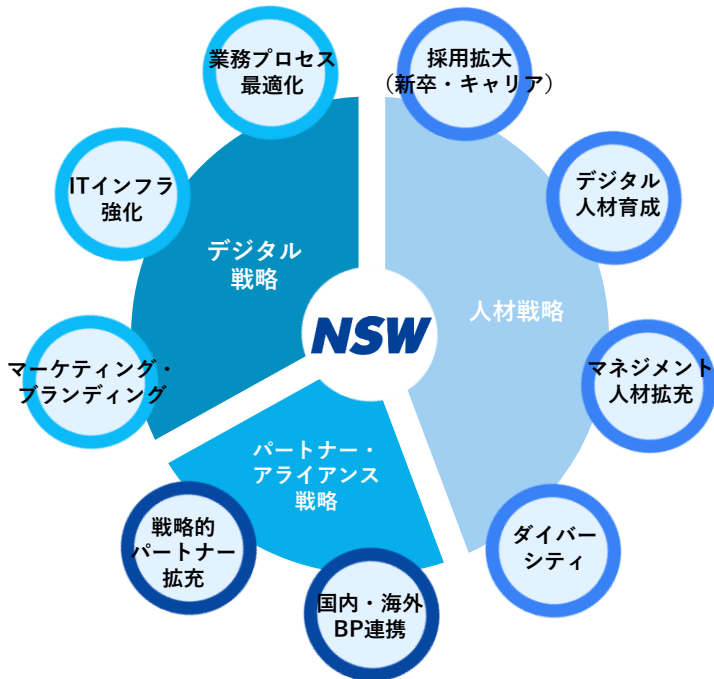


・ NSW 山梨ITセンター



デジタル変革の実現に向けて

DX FIRST × 共創



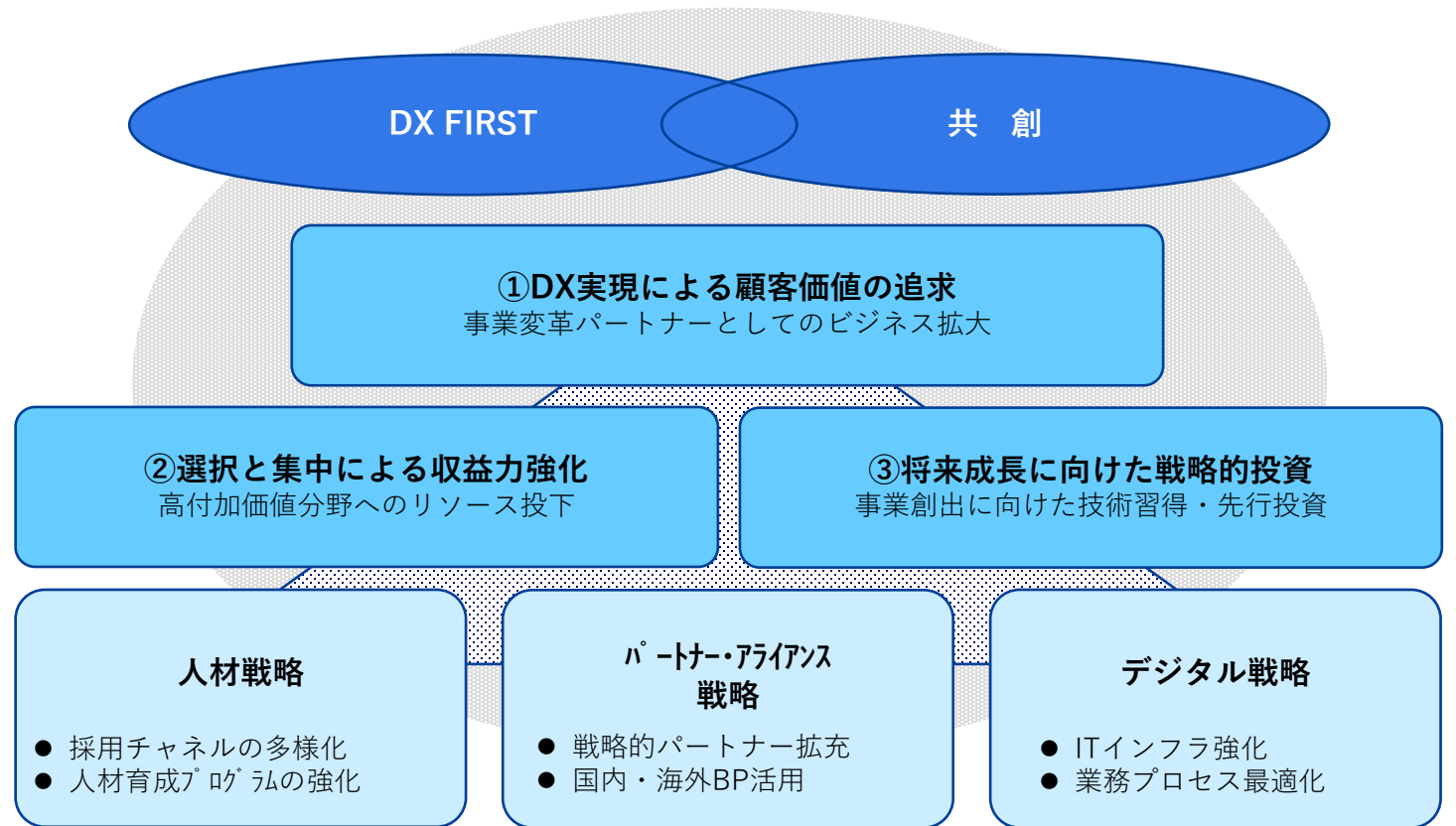
基本方針

コンセプト

重点戦略

共通戦略

デジタル変革による社会と企業の持続的成長の両立
～技術と知によりお客様とビジネスを共創するSIerへの進化～





NSW

Humanware By Systemware